

小田原創友クラブ

第84号

【発行】小田原市老人クラブ連合会
〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 創友クラブ教養部

【印刷・編集協力】株博報社関東本社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001(代)

新年のあいさつ



小田原市老人クラブ連合会
(小田原創友クラブ)

会長 平井 良一



明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、お健やかに、明るく希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は乙巳年です。初夏の花のように華やかで目立つ一年となるようです。創友クラブは創立60周年を迎えるお目出たい年であり、平素よりご協力いただいておりますが、尚一段とスポーツ・芸能・教養・旅行などの事業活動に取り組みたいと思います。

私たち創友クラブは、『明るく・楽しく・元気よく』をモットーに活動しておりますが、80でも90でも元気な高齢者は大勢活躍していて、地域での社会奉仕・見守り・友愛・健康づくり活動に励んでおります。高齢者の持つ豊富な経験と知恵が、小田原市の高齢者施策、地域づくりの推進など地域社会の発展に欠かすことが出来ない重責を担っていると自負いたしております。

そのような点を関係各位にご理解していただきと共に、私たちも自ら率先して地域活動に参加して、高齢者が住みやすく安心安全な地域社会づくりに貢献していきたいと思っております。そのクラブ活動の基本姿勢として、喜びも楽しみも分かち合う仲間づくりの輪を広げていくことが大事であると考えております。

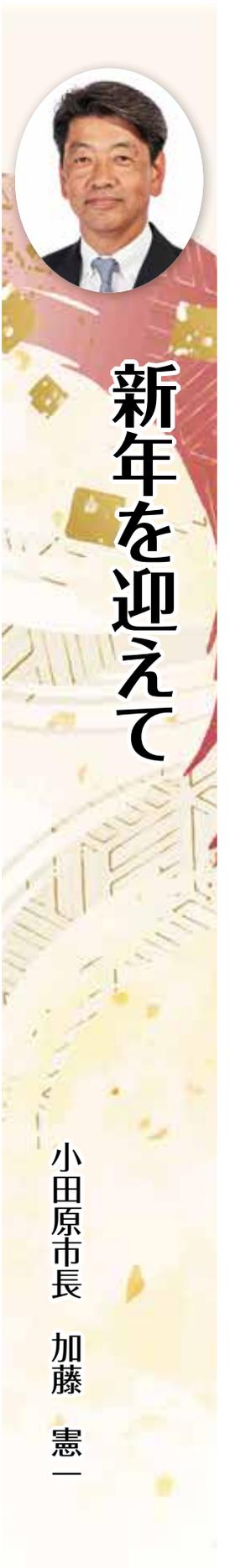
役員の高齢化や、組織運営の硬直化などの課題の改善を図りながら、新年度事業に取り組みでいききたいと思っております。結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--

--



新年を迎えて

小田原市長 加藤 憲一

明けましておめでとうございます。小田原市老人クラブ連合会の皆様方におかれましては、新年を清々しい気持ちでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、本年、貴会が創立60周年という節目を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。会員の皆様には、日ごろより、地域の清掃活動や友愛活動、健康づくりに関する活動など、様々な取組を精力的に実施され、地

域福祉の向上に貢献いただいておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、私は昨年5月に小田原市長に再就任し、「誰もが笑顔で暮らせる、愛すべきふるさと小田原」を目指し、市政運営の舵取りをスタートしました。

福祉分野においては、重要テーマとして、「弱い立場にある人たちに、日本で一番やさしいまちへ」を掲げ、市民の命と暮らしを守る政策を最優先に高齢者のみならず、障がい、子育て、教育、

若者への支援としてのちへの寄添いに力を尽くし、取組んでいます。

「人が出会い、つながり、支え合うコミュニティづくり」を進める上で、担い手の一員としての皆様の存在は欠かせないものであり、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせる「ケアタウン構想」の実現に向けても、お力添えをお願いしたいと考えております。

小田原市老人クラブ連合会の皆様には、これからも健康に留

意しながら、地域共生社会の実現に向けて、健康づくりや生きがいづくり、ボランティア活動など、様々な面で御尽力、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、小田原市老人クラブ連合会並びに各单位老人クラブのますますの御発展、そして今年一年が皆様にとりまして素晴らしい年でありますよう、心から祈念いたします。



新年のべし挨拶

小田原市議会 議長 大川 裕

明けましておめでとうございます。小田原市老人クラブ連合会の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、地域のボランティア活動や清掃活動などの様々な社会活動を通して、シニア世代の生きがいと健康づくりの推進や暮らしやすいまちづくりにご協力いただいておりますことに、厚くお礼申し

上げます。さて、本年、貴会が創立60周年という大きな節目を迎えられますことを心からお祝い申し上げます。この60年を振り返りますと、高度経済成長期を経て、成熟社会となりましたが、現在では、少子高齢化、国際化やデジタル化が進み、社会がより一層多様化している状況でございます。また、いわゆる「団塊の世代」約800万人が75歳以上の後期高齢者となられ、今はまさに超高

齢社会と言われております。そのような時代の中にあって、高齢者の皆さんが、これまで培ってこられた豊富な人生経験や知識、幅広い人間関係といった資源は、今日の複雑化している社会にあっても、自分のみならず、家族や知人、地域の人々のために大いに活かされるものでございます。そして、高齢者一人ひとりが能力を遺憾なく発揮し、生き生きと楽しみながら、自分のため、周りのために活躍できる場

を提供し、その活動を支援している貴会の役割は、今後ますます高まっていくものと存じます。市議会といたしましても、だれもが明るく活気に満ち、健康で生きがいあふれる生活を送ることができる社会の実現に向けて努力してまいりますので、本年も、変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。結びに、貴会のますますのご発展と、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



福祉健康部長 鈴木 裕一

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。

小田原市老人クラブ連合会の皆様方におかれましては、健康やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろより、本市の福祉行政に対しまして、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では全国同様に少子高齢化が進展し、総人口に占

める65歳以上の方の割合は30%を超え、年々、介護サービスを必要とされる方も増加しております。

このような状況におきましては、シニア世代の皆様が積極的に健康増進や介護予防に取り組みることが重要になってまいります。老人クラブの皆様におかれましては、豊かな経験やスキルを活かし、ボランティア活動や就労のほか、日々、様々な地域活

動への取組みにより社会参画が進み、健康寿命の延伸につながることを確信しております。

人生100年時代と言われる中、地域の高齢者の皆様がお互いに協力しながら活動を続けていくことは、介護に頼らず、いつまでも元気に自分らしい生活が続けられることに寄与するものと考えております。

小田原市老人クラブ連合会の皆様には、今後とも、健康づくり

や仲間づくりなどを通じて、多世代交流や見守り活動、環境美化活動等地域福祉の充実に力を発揮していただきたいと思います。

結びに、この新しい年が、小田原市老人クラブ連合会並びに各老人クラブの皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう、心から祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

小田原市老人クラブ連合会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、本年、貴会が創立60周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。これまでのたゆまないご努力と長年の地域へのご貢献に対しまして、厚く御礼申し上げますとともに、心より敬意を表する次第です。

さて、全国的に人口減少、少子高齢化が進んでおり、これらに

加え、孤立・孤独の問題、ひきこもり、物価高による生活困窮者の増加など様々な課題が増えてきております。また、昨年は正月の能登半島地震を始め、9月の大雨による被害など、災害が多い一年でした。

近年、気候温暖化の影響等により大雨などの自然災害が増えいておりますが、日頃からの交流や地域の人同士による支え合い、助け合いが災害時には大きな力になると言われております。

令和4年10月に策定した「第

小田原市社会福祉協議会 常務理事 柏木 武彦

4期小田原市地域福祉活動計画」でも、基本目標の一つを「大規模災害への対応」としており、身近な地域の人同士による交流や支え合いを進めていくことで、市社協が目指す「すべての人が安心して暮らせるまちづく

り」につながるものと考えております。市社協といたしましては、市をはじめ様々な機関や団体と連携しながら、災害に対する取り組みを進めてまいりたいと考えております。

市老連の皆様におかれましても、本市の地域福祉活動の主要

な担い手として、長年続けてこられた地域での交流や支え合いの活動が災害対応の面からも大変重要となりますので、今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。次第であります。

結びになりますが、貴会のおますますのご発展と、新しい年が会員の皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

第59回 小田原市老人クラブ連合会大会

令和6年11月20日(火)に小田原三の丸ホール大ホールにて開催いたしました。新装になって2年目の市民ホールで2回目の開催であり、運営する役員も出演する会員の方も戸惑うこともあるようでしたが、1部式典、2部芸能大会が実施されました。

式典は、北村副会長の開会のことば、君が代の演奏、物故会員への黙祷と進行し、平井会長から関係機関の市老連活動への支援、協力に対する感謝の辞があり、市老連の現状・課題について述べられ、今後の活動の展望と発展に努めていくとの力強い挨拶がなされました。

次に、永年にわたり老人クラブ活動に功績のあった方々の表彰式が行われました。

【会長職6年以上の方1名】

渡辺 雅汎さん 国府津地区

【会長職以外の三役10年以上の方3名】

服部 毅さん 大窪地区

長谷川栄一さん 久野地区

中島 好美さん 酒匂地区

【多岐にわたる活動を継続】

故 杉崎 勲さん 曾我地区



以上の方々が表彰され、被表彰者を代表して久野地区 長谷川栄一さんが謝辞を述べられました。

つづいて、加藤市長、楊議会副議長、小澤県議会議員、関野自治会総連合会長からお祝いの言葉と市老連活動への激励・協力の祝辞をいただきました。



その後、ご臨席されました来賓の方の紹介と市老連役員の紹介があり、片山副会長によって宣言文が読み上げられ、宮本副会長の閉会のことばをもって式典は終了いたしました。

14時00分より各地区自慢の芸能発表会が行われ、本年度は12団体の歌や踊りが披露され、中でも芸能大会では初めてだと思いますが落語が披露され、その話術に会場内は楽しい雰囲気につつまれ無事終了しました。

大会に出演された方、観客の方、裏方として支えていただいた老連役員と社協スタッフの皆様方に感謝申し上げます。



小田原市老連 令和6年度福祉友愛募金

募金金額 1,056,500円

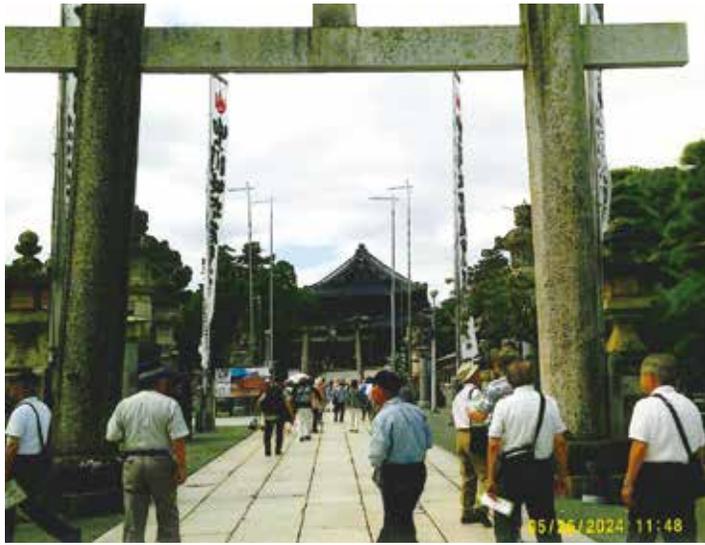


私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

創友クラブ 秋季研修旅行

宮本多喜子

1班の私達は、9月24日、少し早めの6時45分頃出発しました。
 最初の見学場所は豊川稲荷でした。駐車場からの参道にはなぜか、うなぎ屋さんがたくさん並んでいます。豊川稲荷は元は曹洞宗妙厳寺だそうですが、お稲荷さんの方が有名になってしまったようです。赤い鳥居があるかと思っていたら、どこにもありませんでした。ちょっとがっかりです。



昼食後、まるや八丁味噌を見学しました。大きな味噌樽の上に大きい石から小さいものまで順に芸術作品の様に積んでありました。ここでは、日吉丸の面白い話を聞いたり、試食もさせてもらいました。

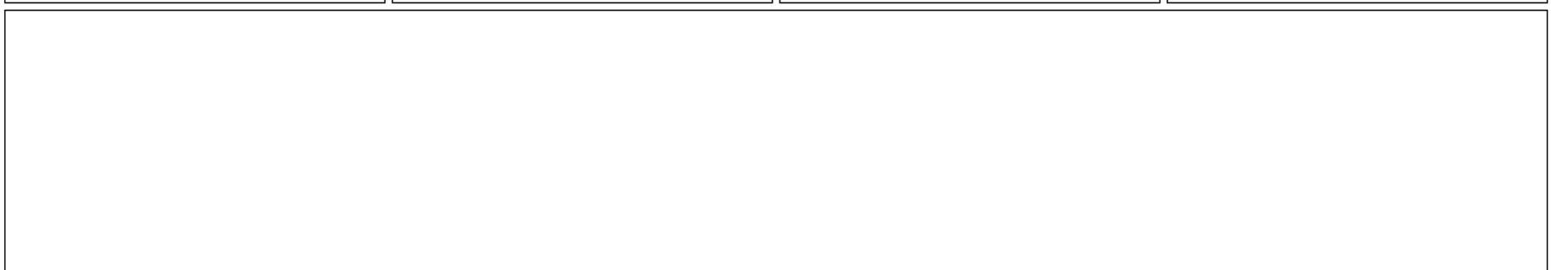
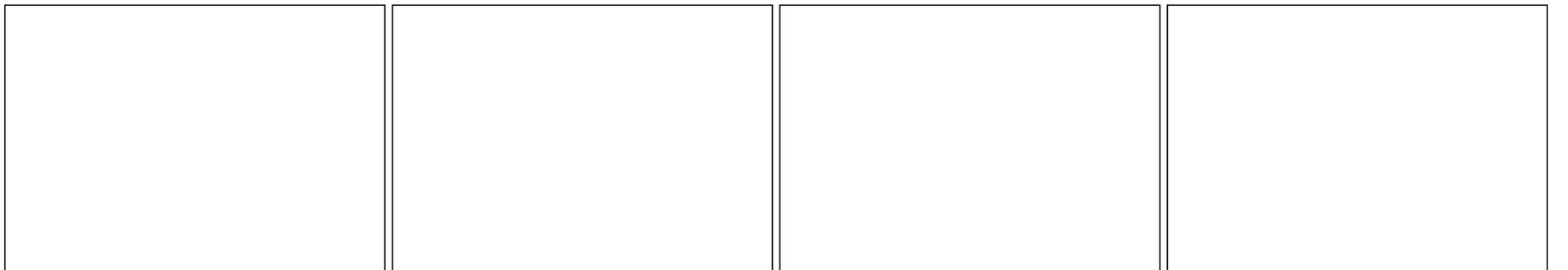


宿泊は、西浦温泉のホテル東海園で、海の近く、坂の上で、風が吹きどろろでした。
 夕食の宴会はカラオケで盛り上がりました。食事に特別にうなぎが出たのはうれしかった。



翌日の蒲郡海鮮市場は、小田原とあまり変わらない物が並んでいました。
 グリンピア牧之原で茶畑と工場見学、この茶畑は、明治時代に職を失った武士達が、徳川慶喜と共に開拓したそうので、見渡すかぎり青々と広がっていました。四番茶まで摘むとのことでした。昔わが家でも、蜜柑の木の間に植えたお茶を皆で摘んだことを思い出しました。
 買物場所が多かったのが気になりました。暗くなる頃に帰宅できました。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



単位クラブ活動報告

東富水地区

連合会長 小川 富崇

総会員数 31名

蛭田フレンズ 会長 小川 富崇

会員数 男10名 女21名

本会は、蛭田駅東側の5つの自治会からなる単位クラブです。令和2年に「蛭田フレンズ」に改め、会員相互の親睦と健康増進を目的に再スタートしました。

【主な事業】

一、「蛭田フレンズの集い」と称し、毎月第4水曜日に蓮正寺住宅集会所で行っております。麻雀・将棋・折り紙教室・民舞同好会による披露などを行いました。特に、麻雀・将棋は脳のリハビリゲームで、もの忘れの改善にも効果があると言われております。

その他「一泊の温泉浴」も行いました。

二、「市老連事業」

①「日帰りバス旅行」(昇仙峡・武田神社・ワイナリー)(4月4日)

②「社会奉仕の日」(9月20日)

「蓮正寺第一公園」と「蓮正寺児童遊園地」の除草・清掃が主な作業です。

※「蓮正寺第一公園」は小さな公園ですが、外周にプラタナスや桜が、広場には箒仕立のケヤキ、そして遊器具やベンチがあり、多数の方に親しまれております。公園は市の管理で、ソフト面は地元自治会に委ねられ、本会は自治会の後援組織として、通年的に協力しております。

③「シルバー作品展」(10月20日)

(酒匂川で見かける鳥たち)と題した写真の展示です。

④「シルバースポーツ大会」(11月7日)

⑤「市老連大会の芸能の部」(11月20日) (舞踊を5人で出演)

以下割愛しますが、各事業を通じて、住みよい地域づくりの一助となるように、そして、「明るく、楽しく、元気よく」を合言葉に進めていきたいと思っております。



麻雀 トランプ (将棋)



社会奉仕の日 9/20

蓮正寺児童遊園地



社会奉仕の日 9/20 蓮正寺第一公園

プラタナス

ケヤキ

ベンチ

遊具



シルバー作品展 10/20

酒匂川で見かける鳥たち



折り紙教室(作品の数々)



民舞同好会による披露

芦子地区

連合会長

山本日出夫

芦子地区は小田原駅の西に位置する谷津喜楽会の4地区と隣接する池上と寺町の6単位クラブで構成されています。毎年度4回開催している恒例の講演会の内、今年で第3回となった秋の音楽鑑賞について紹介します。

第1回 令和4年10月15日

内容

ソプラノ歌手の童謡独唱
ピアノによるピアノ独奏
ソプラノ歌手のオペラ歌曲独唱

第2回 令和5年9月30日

内容

ソプラノ歌手 名曲で巡る世界の旅独唱
ソプラノ歌手どつぶりクラシック
ピアニストによるピアノ独奏

第3回 令和6年9月28日

内容

マリンバコンサート
演奏曲
荒城の月 鞠と殿様 ふじの山 故郷
他にも多数

回数が増える毎に会員の参加者が増えて掲載した写真の様に会場の谷津公民館が満席になるほどでした



総会員数
195名

入谷津喜楽会	会長	山本日出夫
上谷津喜楽会	会長	磯崎透
中谷津喜楽会	会長	丸山和夫
下谷津喜楽会	会長	佐久間悦夫
池上池寿会	会長	鵜塚勝好
寺町桐寿会	会長	金子和充

会員数

男 27名	女 16名	計 43名
男 19名	女 11名	計 30名
男 15名	女 8名	計 23名
男 12名	女 18名	計 30名
男 19名	女 10名	計 29名
男 12名	女 28名	計 40名



生きがいふれあいフェスティバル

『第52回シルバー作品展』

記 平井 良一

令和6年10月20日(日)鴨宮の生きがいふれあいセンター「いそしぎ」において、シルバー作品展が開催されました。コロナ後から1日開催となっています。会員から寄せられた出展作品数は120点でした。書道・俳句・手芸・陶芸・絵画、その他(写真、収集品、工芸品など)の多岐にわたり力作揃いの作品ばかりでした。

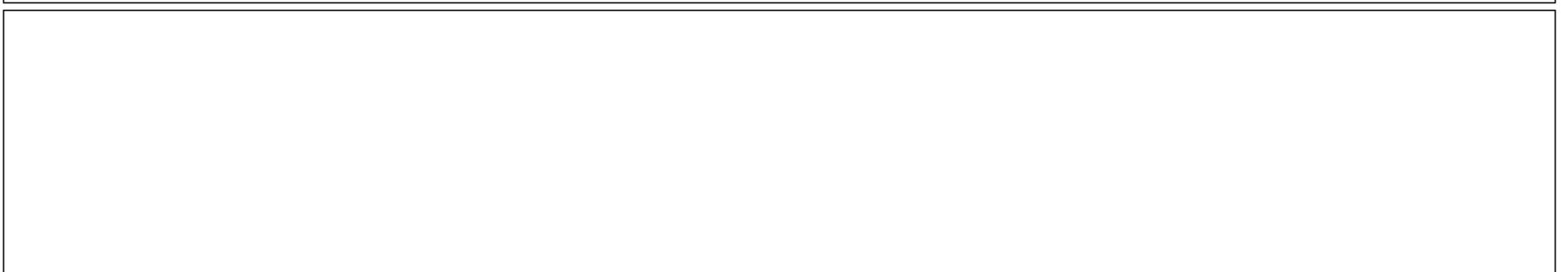
その時同じ会場で小田原市の委託事業である「三世代交流事業」として、女性部の協力を得て、ちりめん小物作りを実施しました。高齢者の楽しみを若い人たちと分かち合うために《ガチャ》を使い、見学に訪れた親子にも参加していただきました。午後からは市長も見学に来ていただき、会場にいた方たちとふれあいの場もありました。

見学者数は延べ人数で300人でした。今年も出展者の中から最高齢者の方々に、感謝状贈呈式があり、男性は芦子地区の亀山忠彦さん、女性は上府中地区の和田梅子さんが表彰を受けられました。

シルバー作品展開催にあたり、会場の設営、作品の搬入搬出、ちりめん小物作り、会場撤収等々に理事役員の皆さん始め、市高齢介護課や市社協の関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



第49回「シルバースポーツ大会」について

体育部長 片山 勝

第49回「シルバースポーツ大会」が11月7日(休)好天に恵まれ酒匂川スポーツ広場に於いて盛大に開催された。当日は多数のご来賓を迎え、19地区350名の参加により行なわれ、各地区選手団の整列に始まり君が代国歌斉唱、前年度優勝杯返還、平井良一会長の大会挨拶に続き来賓の方々のご祝辞を賜り、続いて高齢介護課による準備体操の後、各競技が始まった。「玉入れ競争」「風船割り競争」「ボール送り競争」白熱する選手の熱気が伝わってきた。午前中の競技終了の後、有志により「きよしのズンドコ節～小田原小唄」が多数の参加で盛り上がった。青空の下でのお弁当は各地区和気あいあい楽しく、午後の部「水の祭典」大勢の応援により一層の盛り上がりとなった。本大会を振り返り各地区の理事さん、社会福祉協議会担当者の皆さんに厚くお礼申し上げます。最後に本大会が怪我なく無事終了できました事、嬉しく思います。

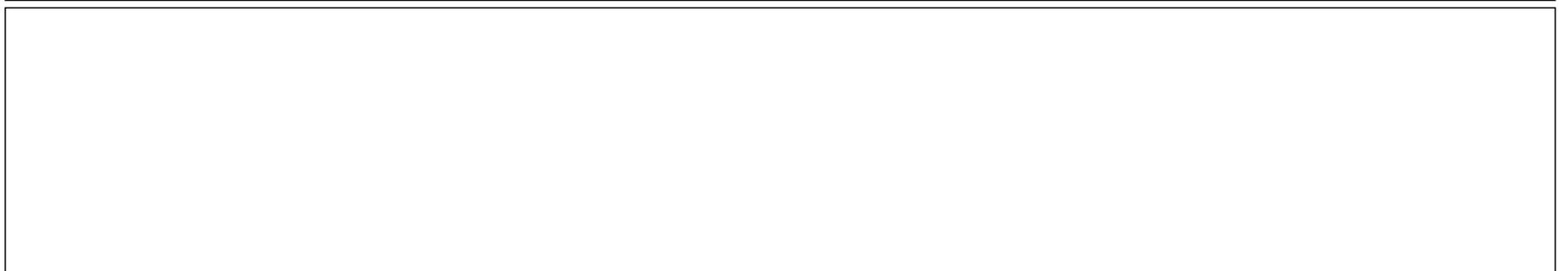
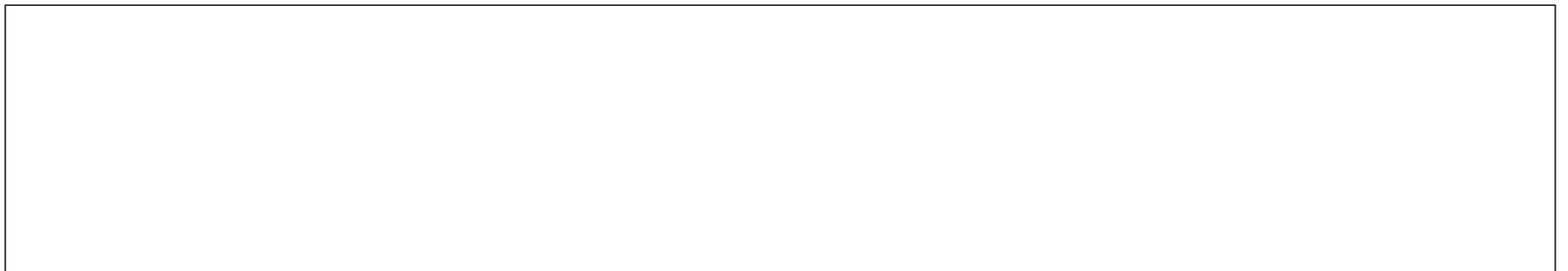


【100歳長寿の会員】

(掲載対象者：大正13年3月～大正14年3月生まれ)
令和6年9月～令和7年3月までに100歳を迎えられる方

地区名	クラブ名	お名前	生年月日
曾我	上曾我千歳会	徳田 ナカ	大正13年9月7日
下曾我	相生会	石綿 千代	大正13年9月7日
上府中	永塚睦会	原 俊子	大正13年9月9日
片浦	石橋福寿会	脇山 ミツ	大正13年12月9日
上府中	永塚睦会	松村喜代子	大正14年1月2日
新玉	新宿ことぶき会	鈴木タミ子	大正14年2月26日
下曾我	高砂会	片野サダ子	大正14年3月20日

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



活動アルバム



ゆめクラブ大学



友愛チームリーダー研修会



老人大学 (第1回)



体力測定



2024/06/27

会員投稿

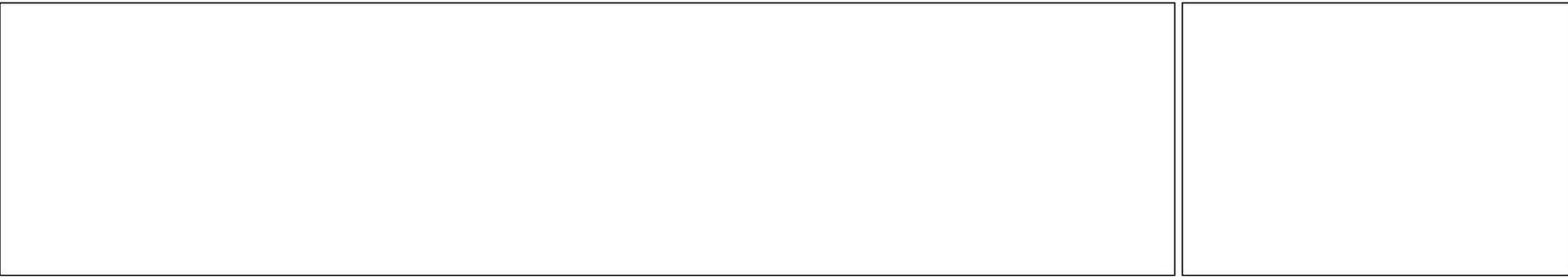
酒匂地区

第二寿栄広会 福島美代子

私の母は日頃いつも人様の悪口を言っではいけない、自分が良かったら、人も良くななくてはならない、母はそんな母でした。だから私も、皆んな友達他の人様も、大事にしたく人生をやってきました。

そして、久野の方から馬車で、スイカをつみ又肉屋さんも来てそれを全部、買って子どもに十分にたべさせてもらいそんな家庭で育ちました。ですから私も人生を今出来る事は友達皆んなを良くし人生をやって行く気持ちでいっぱいです。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



会員文芸

俳句

東富水地区 蛭田フレンズ 青木 陽子

白鷺のすつくと立teri野分あと

山萩に両粒はねてあたりけり

コスモスや駅長さんの目のほそき

掌にひやりと重き梨を剥く

外猫の尾つぼふわりと三日月夜

十字地区 西海子クラブ 生田目茂子

夏 シャッター街素通りして行く神輿かな

冬 初場所や主役の意地の塩吹雪

酒匂地区 第二寿栄広会 大木 敬子

(冬)朝まだき節分の日の神社掃く

(新年)初乗(はつり)やラブラドルも富士仰ぎ

川柳

十字地区 西海子クラブ 生田目茂子

爺(じい)の声いや待てあれは牛蛙

年金や扶養家族の猫二匹

短歌

片浦地区 高砂会 稲子 和美

月光に凍てつくような面を見せ

海限りなく静止したまま

夫より早く定位置に飼い猫は

すまし顔して夕飯を待つ

「パッチワークまた始めます」と記されて

快方の友の便り届きぬ

片浦地区 高砂会 宮本多喜子

我が家に来たる四十雀の群れの中

胸毛茶色の一羽が交じる

千両の実を食べ尽し鴨は

楓の枝にひと休みせり

原稿募集

「小田原創友クラブ」85号(令和7年夏号)に原稿をお寄せください。単位クラブ活動や仲間同士でのボランティア活動、特別な行事や地域の奇祭などに参加している様子を投稿ください。(活動している様子、行事の様子など写真を添付してください)

日々の雑感(随想)、旅行記、俳句、短歌、川柳などお寄せください。

●紙面の都合で長文の場合は文章をカットまたは次号回しにする場合があります。

●二重投稿、発表済のものは受け付けません。

●必ず氏名・地区名・クラブ名・電話番号を明記ください。

発行 令和7年8月

締切日 令和7年6月1日

宛先 〒250-0055

小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館内
小田原市老人クラブ連合会 「小田原創友クラブ」教養部

会員募集中!!

60歳をすぎたら

シルバー人材センターへ

健康で、働く意欲のある高齢者の就業をサポートする公益社団法人です。民間企業・家庭・公共機関などから仕事を引き受け、会員に提供します。毎月第3火曜日に説明会を行っています。



連絡先 生きがいふれあいセンターいそぎ内

☎0465(49)2333 【永井・山田・朝倉】

興味のある方は

小田原市シルバー人材センター

検索

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--

--



女性部のつどい

女性部長 宮本多喜子

12月5日(木)に女性部のつどいとしてポッチャ大会を開催しました。各地区より3名ずつ44名の出席がありました。平井会長の挨拶に続いて北村副会長から競技の説明がありました。福祉会館の4階ホールに3面のコートを作りました。

ポッチャはパラリンピックなどで名前知っているがやったことがないという方が沢山いらっしゃいました。今回は順位をつけずに遊び感覚でやってみました。皆さん帰りには楽しかったと言ってくださいましたので、初めてのことでしたが一安心でした。

これからも皆さんと楽しく女性部を運営してゆきたいと思っておりますのでどうぞよろしくご協力下さい。



あしがき



令和6年は四季に変化があったのか?

夏が過ぎ秋かなと思ったら冬の気候となり、寒い日が続いた日々でしたが会員の皆様におかれましては体調にお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

小田原城に行ってみると外国人の観光客が非常に多くいろいろな国の言葉が飛び交っております。

市老連もスポーツ大会、旅行、市老連大会等主だった事業も無事終了しました。

令和7年は市老連の行事が全て実施されること、会員の皆様方が何事もなく過ごされますよう祈念いたします。

(教養部)

会員加入増強運動

小田原創友クラブの推進項目として

- ① 未加入者宅にパンフレットの投函。
- ② 会員1人が新しい会員1名以上の勧誘をする。
- ③ 未加入自治会の創友クラブの結成をはかる。
- ④ 単位クラブ2名以上の増員が最低目標。

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報紙に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本紙は紙面を通して会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【小田原市老人クラブ連合会】

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--